

がん化学療法個人計画書

患者の状態により輸液の内容・量及び投与速度を変更する場合があります。

科名	適応がん種	レジメン名
	多発性骨髄腫	DVd
投与予定	休薬を含めて1クール 21日(9クール目以降は28日) 可能な限り	

Rp	薬品名	申請投与量	計算量	実際の投与量	手技・用法	投与時間	投与日(day -)				
							1	4	8	11	15
1	生食	50ml			点滴静注	5分	↓		↓		↓
2	ダラツムマブ + 生食 初回投与は1Lの規格で 2回目以降は500mlの規格で 輸液量・投与速度は以下の表参照	16 mg/kg	#REF! mg/body	実際の投与量 mg/body	点滴静注	医師の指示通り	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> ダラツムマブは 4クール目以降はDay1のみ投与 9クール目以降は1クール28日に変更 </div>				
				実際の投与量 ml							
3	生食	50ml			点滴静注	5分	↓		↓		↓
4	ボルテゾミブ 生食 (1vを生食1.2mlで溶解)	1.3 mg/m ²	#REF! mg/body	実際の投与量 ml	皮下注		<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> ボルテゾミブは9クール目以降は中止 </div>				
						↓					

Rp	薬品名	薬価最小組み合わせ	備考
2	ダラツムマブ	内訳 100mg: 0mg 400mg: 0mg	生食を用いて希釈後の総量を1000mlとし、50ml/時の投与速度で開始。 Infusion reactionが認められなかった場合には、患者の状態を観察しながら希釈後の総量及び投与速度を以下のように変更することができる。ただし、投与速度の上限は200ml/時とする。
		投与開始からの投与速度(ml/時)	
投与時期	希釈後の総量	0~1時間	1~2時間
初回投与	1000ml	50	100
2回目投与	500ml	100	150
3回目投与以降	500ml	100	200
4	ボルテゾミブ		皮下注射の場合、1vを生食1.2mlで溶解する。静注の場合、1vを生食3mlで溶解する。 皮下注: 投与部位は左右の大腿部、腹部に交互に投与するなど注射部位を替えて行う

併用内服薬	用量(1日量)	用法	投与期間
デキサメタゾン(レナデックス) (4クール目以降はday15中止) (9クール目以降はday1のみ)	20mg	分1朝食後※	day1、2、4、5、 8、9、11、12、15
アセトアミノフェン	1000mg	ダラツムマブ 投与1~3時間前	ダラツムマブ 投与日
ジフェンヒドラミン	30mg		
モンテルカスト	10mg	前日眠前と 当日朝	1クール目 day1のみ※※

ダラツムマブ投与時にはインラインフィルター(0.22 μm又は0.2 μm)を用いて投与すること。

※ダラツムマブ投与日のデキサメタゾン内服はダラツムマブ投与の1~3時間前に投与すること。

※※1クール目day1のみ前日眠前、当日朝にモンテルカスト10mgを内服。呼吸器疾患のある場合は以降も継続。

デキサメタゾンの用量・投与期間は、患者の状態に変更する場合があります。

ボルテゾミブは静注の場合あり。

備考	
----	--